

# 記入例（実績報告書）

令和9年 3月 31日

社会福祉法人逗子市社会福祉協議会  
会 長 殿

請 求 者 団 体 名 傾聴ボランティア まごころ会  
代表者氏名 逗子 あゆむ  
住 所 逗子市桜山 5-32-1  
電 話 番 号 046-873-8011  
ファクシ番号 046-873-8011  
e-mail vc@zushi-shakyo.com

## 令和8年度赤い羽根共同募金福祉活動助成金実績報告書の提出について

社会福祉法人逗子市社会福祉協議会赤い羽根共同募金福祉活動助成金交付要綱第7条の規定により、別紙のとおり実績報告書を提出します。

### 記

- 提出書類 (1) 事業助成 実績報告書 (別紙1-①・1-②・1-③・1-④) ( 1 ) 部  
(2) 機材助成 実績報告書 (別紙2-①・2-②・2-③・2-④) ( 1 ) 部

複数の事業助成を受けた場合は、事業ごとに別紙1-①、1-②、1-③、1-④を作成し、提出してください

(別紙1-①) 令和8年度

## 事業助成 実績報告書

令和9年 3月 31日提出

1. 申請事業名 (申請書に記入した申請事業名を記載してください)
<b>傾聴講座</b>
2. 開催日時、回数
申請事業の合計開催回数 <b>3</b> 回 開催日時: <b>令和8年10月1日・令和8年12月1日・令和9年2月1日 10時~12時</b>
3. 開催場所 (会場・行先など)
<b>逗子文化会館</b>
4. 対象者、参加人数
対象者 <b>市内在住、在勤、在学の方</b> 団体構成員(会員)以外も対象の場合は <input checked="" type="checkbox"/> → <input checked="" type="checkbox"/> 申請事業の合計参加人数(延べ) <b>90</b> 名(うち逗子市民の参加人数: <b>84</b> 名)
5. 具体的な事業内容及びその目的
※講師謝礼に助成金を充当した場合は、講師の名前と所属もご記入ください。 <b>傾聴のスキルアップと会員を増やすことを目的に開催した。傾聴に関する講義とロールプレイを中心に行った。講師は〇〇大学の〇〇先生にお願いした。</b> <b>前半は、傾聴の知識と技術を講義形式で学び、基礎的なコミュニケーションの理論だけでなく、日々の活動を意識して、施設入所者や認知症の方への傾聴の方法と注意点についても学んだ。</b> <b>後半は、少人数のグループに分かれてロールプレイを行った。技術的なことばかりではなく、心構えについても受講者に伝えていった。</b>
6. 事業を行なったことで得られた成果と今後の展望
<b>講座後のアンケートでは、「知識や技術への不安が、今回の講座で解消された」、「ロールプレイを通して、相手が自然に笑顔になることが嬉しくなり、また頑張ろうという気持ちになった」といった回答があり、会員のスキルアップや活動の意欲向上にもつながったと考える。</b> <b>また、会員以外の市民からも好評で、今回の講座をきっかけに、3名が会員として仲間入りした。次年度も傾聴講座を開催していきたい。</b>

複数の事業助成を受けた場合は、事業ごとに別紙1-①、1-②、1-③、1-④を作成し、提出してください

(別紙1-②) 令和8年度

## 事業助成 実績報告書

令和9年 3月 31日提出

団体名	傾聴ボランティア まごころ会
事業名	傾聴講座
本助成金は共同募金（赤い羽根募金・年末たすけあい募金）が原資となっています。募金者の方々や募金を集めてくださった方々へメッセージをお願いします。 ※社協の広報紙、ホームページ等で団体名、事業名とともに公表させていただく可能性があります。	
<p>傾聴ボランティアとは、相手の話を「聴く」ボランティアです。今年度、会員や傾聴ボランティアに興味がある方を対象とした「傾聴講座」に助成していただきました。傾聴に詳しい大学の先生に講師をお願いし、傾聴の基本などの講話や参加者同士で話し手、聞き手に分かれて演習などを行いました。</p> <p>参加された方からは「知識や技術への不安が、今回の講座で解消された」、「ロールプレイを通して、相手が自然に笑顔になることが嬉しくなり、また頑張ろうという気持ちになった」といった感想をいただき、会員のスキルアップや活動の意欲向上にもつながったと考えています。また、今回の講座をきっかけに、3名が会員として仲間入りしてくださいました。</p> <p>傾聴講座を開催できたことで、傾聴のスキルアップと会員を増やすという目的を達成することができました。これからも傾聴活動をより充実させ、温かな地域づくりに貢献できると幸いです。</p> <p>私たちの活動は皆様からのご寄付により支えられています。温かいご支援、ありがとうございました。</p>	

活動の様子がわかる写真や成果物等を添付してください

(社協の広報紙、ホームページ等で公表する場合がありますので、

必ず公表可能な写真にしてください)

収まらない場合は貼り付けず別途ご提出ください

写真は、以下のアドレスにメールで

お送りいただいても構いません。

[vc@zushi-shakyo.com]

複数の事業助成を受けた場合は、事業ごとに別紙1-①、  
1-②、1-③、1-④を作成し、提出してください

(別紙1-③) 令和8年度

## 事業助成 実績報告書

令和9年 3月 31日提出

申請事業名：傾聴講座

※「別紙1-①」の「1. 申請事業名」を記載してください

### 【収入】

項目	決算額	説明 (内訳を記載)
赤い羽根共同募金福祉活動助成金 (申請額)	46,000	
会費	10,000	年間500円×会員20名
講座参加費	30,000	(500円×20名)×3回
合計	86,000	

### 【支出】

項目	決算額	助成金充当額	説明 (内訳を記載)
講師謝礼金	30,000	30,000	外部講師の場合は <input checked="" type="checkbox"/> → <input checked="" type="checkbox"/> 10,000円×3回
交通費			
消耗品費	25,000	7,000	チラシ用紙、講座資料用紙など
印刷製本費	20,000		チラシ・講座資料の印刷代
通信運搬費			
保険料			
使用料および賃借料	9,000	9,000	3,000円×3回
茶菓子代	2,000		講師への茶菓子代
合計	86,000	46,000	

- ◆赤い羽根共同募金福祉活動助成金 (申請額) は、「千円」単位でお願いします。
- ◆申請事業にかかわるもののみご記入ください。団体全体の収支を記載する必要はありません。
- ◆助成金交付団体には、自主財源確保の努力をお願いします。  
収入について、本助成金以外に会費負担などあれば、ご記入をお願いします。
- ◆当年度で他機関の助成金 (補助金) の申請予定がある場合は、収入欄に必ずご記入ください。  
なお、行政等の委託金がある事業には、本助成は適用できません。
- ◆収入と支出の合計金額が同額となるように記入してください。
- ◆上記の項目は編集しないでください。上記の項目に該当しない項目は空欄にご記入ください。

複数の事業助成を受けた場合は、事業ごとに別紙1-①、  
1-②、1-③、1-④を作成し、提出してください

(別紙1-④) 令和8年度

事業助成 実績報告書  
収支を証明するもの（領収書の写し等）

令和9年 3月 31日提出

【添付欄】（1枚で収まらないときにはコピーしてお使いください）

団体名：傾聴ボランティア まごころ会

複数の機材助成を受けた場合は、機材ごとに別紙2-①、2-②、2-③、2-④を作成し、提出してください

(別紙2-①) 令和8年度

## 機材助成 実績報告書

令和9年 3月 31日提出

1. 申請機材名 (申請書に記入した申請機材名を記載してください)
i P a d
2. 申請内容 ※該当する項目に☑
<input checked="" type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> 修繕
3. 申請機材を使用した事業名
傾聴ボランティア活動
4. 使用した人
会員
5. 使用回数
年 12 回
6. 使用場所
逗子市福祉会館
7. 機材使用場面及びその目的
年間 12 回の高齢者施設での傾聴ボランティア活動のうち、5 回がインフルエンザにより、施設でのボランティア受け入れが難しくなったため、その時は i P a d を活用し、逗子市福祉会館からリモートで高齢者施設の利用者につながり、傾聴活動を行った。
8. 申請機材を使用することによって得られた成果と今後の展望
高齢者施設でのボランティアの受け入れが難しい時でも、傾聴ボランティア活動を続けることができたことは、大きな成果となった。ある利用者からは、「施設での外部受け入れ制限により人との交流が減ったが、傾聴ボランティアの皆さんとはこれまで通り交流を続けられて、大きな心の支えになりました」という声をいただいた。施設職員からも、「リモートで対応いただけるのはありがたい。今後も続けてほしい。」という感謝の言葉をいただいた。今後も i P a d を活用し、途切れることなく活動を続けたい。

複数の機材助成を受けた場合は、機材ごとに別紙2-①、  
2-②、2-③、2-④を作成し、提出してください

(別紙2-②) 令和8年度

## 機材助成 実績報告書

令和9年 3月 31日提出

団体名	傾聴ボランティア まごころ会
機材名	i P a d
本助成金は共同募金（赤い羽根募金・年末たすけあい募金）が原資となっています。募金者の方々や募金を集めてくださった方々へメッセージをお願いします。 ※社協の広報紙、ホームページ等で団体名、事業名とともに公表させていただく可能性があります。	
<p>傾聴ボランティアとは、相手の話を「聴く」ボランティアです。例年、高齢者施設での傾聴ボランティア活動を行っていますが、毎年インフルエンザ等の感染症の影響により、施設に訪問できず活動ができない日もありました。そのような時でも活動ができるよう、今年度はi P a dを購入し、施設に訪問できない日はリモートでの傾聴活動を行いました。</p> <p>ご利用者様からは、「施設での外部受け入れ制限により人との交流が減ったが、傾聴ボランティアの皆さんとはこれまで通り交流を続けられて、大きな心の支えになりました」という声をいただきました。また、施設職員の方からも、「リモートで対応いただけるのはありがたい。今後も続けてほしい。」という感謝の言葉をいただきました。今後もi P a dを活用し、途切れることなく活動を続けたいと思っています。</p> <p>私たちの活動は皆様からのご寄付により支えられています。温かいご支援、ありがとうございました。</p>	

活動の様子がわかる写真や成果物等を添付してください

（社協の広報紙、ホームページ等で公表する場合がありますので、

必ず公表可能な写真にしてください）

収まらない場合は貼り付けず別途ご提出ください

写真は、以下のアドレスにメールで

お送りいただいても構いません。

[vc@zushi-shakyo.com]

複数の機材助成を受けた場合は、機材ごとに別紙2-①、2-②、2-③、2-④を作成し、提出してください

(別紙2-③) 令和8年度

## 機材助成 実績報告書

令和9年 3月 31日提出

申請機材名: i P a d

※「別紙2-①」の「1. 申請機材名」を記載してください

### 【収入】

項目	決算額	説明 (内訳を記載)
赤い羽根共同募金福祉活動助成金 (申請額)	22,000	
積立金	46,800	
合計	68,800	

### 【支出】

項目	決算額	助成金充当額	説明 (内訳を記載)
機材購入費	68,800	22,000	i P a d 本体代
修繕費			
合計	68,800	22,000	

- ◆赤い羽根共同募金福祉活動助成金 (申請額) は、「千円」単位でお願いします。
- ◆購入の場合の申請額は、購入に係る経費の3分の1以下にしてください。
- ◆申請機材の見積書もあわせて提出してください。
- ◆申請機材にかかわるもののみご記入ください。団体全体の収支を記載する必要はありません。
- ◆助成金交付団体には、自主財源確保の努力をお願いします。  
収入について、本助成金以外に会費負担などあれば、ご記入をお願いします。
- ◆当年度で他機関の助成金 (補助金) の申請予定がある場合は、収入欄に必ずご記入ください。  
なお、行政等の委託金がある事業には、本助成は適用できません。
- ◆収入と支出の合計金額が同額となるように記入してください。
- ◆上記の項目は編集しないでください。上記の項目に該当しない項目は空欄にご記入ください。

複数の機材助成を受けた場合は、機材ごとに別紙2-①、  
2-②、2-③、2-④を作成し、提出してください

(別紙2-④) 令和8年度

機材助成 実績報告書  
収支を証明するもの（領収書の写し等）

令和9年 3月 31日提出

【添付欄】（1枚で収まらないときにはコピーしてお使いください）

団体名：傾聴ボランティア まごころ会